

1 開催日時 令和5年4月25日（火） 13時30分から15時30分まで

2 開催場所 浜松市立佐久間小学校 会議室

3 出席委員 高氏秀佳、前田哲則、楸下昌子、小嶋直美、海賀 誠、伊藤由希

4 欠席委員 坂口義和、大見 芳

5 オブザーバー 鈴木充宏（佐久間協働センター）

6 学校 袴田稔（校長）、小野佳貴（教頭）、大渡和正（CS担当教職員）

7 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）

8 傍聴者 0人

9 会議録作成者 大渡和正（佐久間小教諭）

#### 10 会長の選出

高氏委員に、本協議会の会長を引き受けていただくことで全会一致

#### 11 議長の選出

高氏委員に、本日の議長を引き受けていただくことで全会一致

#### 12 協議事項

（1）前回会議録・学校運営協議会自己評価（まとめ）確認

（2）学校運営の方針について

（3）今年度のコミュニティスクールの進め方について

（4）夢育やらまいか事業に対する意見書について

#### 13 会議記録

資格確認 6/8人の委員の出席があり過半数を超えているため会議は成立

（1）前回会議録・学校運営協議会自己評価（まとめ）確認

資料の読み込み

##### ●高氏議長のまとめ

「ノーマディアデー(19)の日」 （中学校区での連携も今後視野に）

「たくましさ」への重点的な取り組みを

「自己評価内のける学校の良い現れの紹介」

- ・学校側が迅速に対応してくれ、信頼がおけた
- ・遠い学校が身近に感じられた
- ・学校が安全な場所であるという安心感からではないか

（2）学校運営の方針について （校長）

新委員2名は小学校の保護者であり入学式等で説明してあるので、ポイントを説明

##### 【児童の実態】

クロムブック → 低学年児童も扱っている

教師の支援がやや過保護 → 児童の自主性を育てる支援へ

学校教育目標 今年度から「やさしく かしこく たくましく」

たくましさの育成を最重点課題 → 心のたくましさを育てる

自立した児童を育て、中学校へ送り出す

R5のキーワード「一歩前進」

出発の式で、児童全員が大きな声で話せた

●質問・意見

★高氏議長

「一歩前進」 歩幅が一人ひとり違うのもよい

「大きな声」 その子の自信にもつながる

2年生（児童1対教師1）学習スタイルの定着を年度初めに進めている

★鍬下委員

小さいうちは、どんどん言うことが大切

★小嶋委員

学校は間違ってもよい・失敗してもよい。そこでいかに修正していくかが大切

★伊藤委員

小さい頃から進行役を行うことで自信がつき、大人になっての行動につながる

(3) 今年度のコミュニティースクールの進め方について（教頭）

「今年度どのような話題で熟議を進めていくか」

●意見

①学校運営

どのように展開しているか校長より説明をいただき確認する

②学校と地域との協働

学校としての意向を受けて委員として何ができるか

③学校が必要とするボランティア

運動場の草への対応

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

意見書内の①「地域の人々と児童との交流」と②「読書環境の改善・充実」の  
読上げ

地域との交流の際の移動手段は？

→ 「校外学習支援（中山間地域バス）事業」で、市の厚い支援がある

全会一致で、意見書を提出することとなった

★海賀委員

浦川小との交流具合は？

→ リモート授業、野外教室・生活科校外学習 等を行っている

14 その他・連絡事項等

- ・佐久間幼稚園作成資料について
- ・自己評価を第3回あたりで実施
- ・開催通知をさくら連絡網で送付
- ・次回意向の開催日時 9月、12月、2月
- ・浜松市教育委員会 教育総務課担当より

浜松市学校運営協議会規則確認（教育委員会教育総務課担当）

第3条（目的）の読上げ

第10条 委員の任期3年 今年度の方は1年（1期目の残任期間となるため）

第12条 秘密を漏らしてはならない

地域が考える「強み」も考えていただければ

（例えば、授業参観の感想等から見えてくるものもある）

→ 次回からは、学校・園視察や授業参観の感想も行う

1 開催日時 令和5年4月25日（火） 13時30分から15時30分まで

2 開催場所 浜松市立佐久間小学校 会議室

3 出席委員 高氏秀佳、前田哲則、楸下昌子、小嶋直美、海賀 誠、伊藤由希

4 欠席委員 坂口義和、大見 芳

5 オブザーバー 鈴木充宏（佐久間協働センター）

6 学校 袴田稔（校長）、小野佳貴（教頭）、大渡和正（CS担当教職員）

7 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）

8 傍聴者 0人

9 会議録作成者 大渡和正（佐久間小教諭）

#### 10 会長の選出

高氏委員に、本協議会の会長を引き受けていただくことで全会一致

#### 11 議長の選出

高氏委員に、本日の議長を引き受けていただくことで全会一致

#### 12 協議事項

（1）前回会議録・学校運営協議会自己評価（まとめ）確認

（2）学校運営の方針について

（3）今年度のコミュニティスクールの進め方について

（4）夢育やらまいか事業に対する意見書について

#### 13 会議記録

資格確認 6/8人の委員の出席があり過半数を超えているため会議は成立

（1）前回会議録・学校運営協議会自己評価（まとめ）確認

資料の読み込み

##### ●高氏議長のまとめ

「ノーマディアデー(19)の日」 （中学校区での連携も今後視野に）

「たくましさ」への重点的な取り組みを

「自己評価内のける学校の良い現れの紹介」

- ・学校側が迅速に対応してくれ、信頼がおけた
- ・遠い学校が身近に感じられた
- ・学校が安全な場所であるという安心感からではないか

（2）学校運営の方針について （校長）

新委員2名は小学校の保護者であり入学式等で説明してあるので、ポイントを説明

##### 【児童の実態】

クロムブック → 低学年児童も扱っている

教師の支援がやや過保護 → 児童の自主性を育てる支援へ

学校教育目標 今年度から「やさしく かしこく たくましく」

たくましさの育成を最重点課題 → 心のたくましさを育てる

自立した児童を育て、中学校へ送り出す

R5のキーワード「一歩前進」

出発の式で、児童全員が大きな声で話せた

●質問・意見

★高氏議長

「一歩前進」 歩幅が一人ひとり違うのもよい

「大きな声」 その子の自信にもつながる

2年生（児童1対教師1）学習スタイルの定着を年度初めに進めている

★鍬下委員

小さいうちは、どんどん言うことが大切

★小嶋委員

学校は間違ってもよい・失敗してもよい。そこでいかに修正していくかが大切

★伊藤委員

小さい頃から進行役を行うことで自信がつき、大人になっての行動につながる

(3) 今年度のコミュニティースクールの進め方について（教頭）

「今年度どのような話題で熟議を進めていくか」

●意見

①学校運営

どのように展開しているか校長より説明をいただき確認する

②学校と地域との協働

学校としての意向を受けて委員として何ができるか

③学校が必要とするボランティア

運動場の草への対応

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

意見書内の①「地域の人々と児童との交流」と②「読書環境の改善・充実」の  
読上げ

地域との交流の際の移動手段は？

→ 「校外学習支援（中山間地域バス）事業」で、市の厚い支援がある

全会一致で、意見書を提出することとなった

★海賀委員

浦川小との交流具合は？

→ リモート授業、野外教室・生活科校外学習 等を行っている

14 その他・連絡事項等

- ・佐久間幼稚園作成資料について
- ・自己評価を第3回あたりで実施
- ・開催通知をさくら連絡網で送付
- ・次回意向の開催日時 9月、12月、2月
- ・浜松市教育委員会 教育総務課担当より

浜松市学校運営協議会規則確認（教育委員会教育総務課担当）

第3条（目的）の読上げ

第10条 委員の任期3年 今年度の方は1年（1期目の残任期間となるため）

第12条 秘密を漏らしてはならない

地域が考える「強み」も考えていただければ

（例えば、授業参観の感想等から見えてくるものもある）

→ 次回からは、学校・園視察や授業参観の感想も行う